

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和6年9月20日

計画の名称	1 唐津市における公共用水域の水質保全の実現（防災・安全）														
計画の期間	平成30年度 ～ 令和4年度（5年間）				交付対象	唐津市									
計画の目標															
下水道整備及び更新による防災・安全対策を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現する。															
計画の成果目標（定量的指標）															
①汚水幹線管渠長寿命化計画を策定した幹線における長寿命化対策実施率を90%（H29末）から100%（R2末）に増加させる。 ②緊急度の高い下水道施設のストックマネジメント計画策定率を0%（H30末）から100%（R2末）に増加させる。 ③緊急度の高い下水道施設の改築実施率を0%（H30末）から60%（R4末）に増加させる。 ④ストックマネジメント実施方針策定率を0%（H30末）から100%（R4末）に増加させる。															
定量的指標の定義及び算定式										定量的指標の現況値及び目標値			備考 （定量的指標の採用年度）		
①汚水幹線管渠長寿命化計画を策定した幹線における長寿命化対策実施率 長寿命化対策済みの幹線数/長寿命化計画策定済みの幹線数 ②ストックマネジメント制度による緊急度の高い下水道施設の機能診断調査実施率 ③ストックマネジメント制度による緊急度の高い下水道施設の改築実施率 ④ストックマネジメント制度による実施方針策定率										当初現況値 (H30当初)	中間目標値 (R2末)	最終目標値 (R4末)	当初	中間	最終
										90.0%	100.0%	100.0%	H29末	R2末	R4末
										0.0%	100.0%	100.0%			
										0.0%	0.0%	60.0%			
										0.0%	50.0%	100.0%			
全体事業費	合計 (A+B+C)	1,402百万円	A	1,402百万円	B	0百万円	C	0百万円	効果促進事業費の割合 C／(A+B+C)						

事後評価（中間評価）

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価（中間評価）の実施時期
唐津市	令和6年9月
	公表の方法
	唐津市ホームページ

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業

A 基幹事業

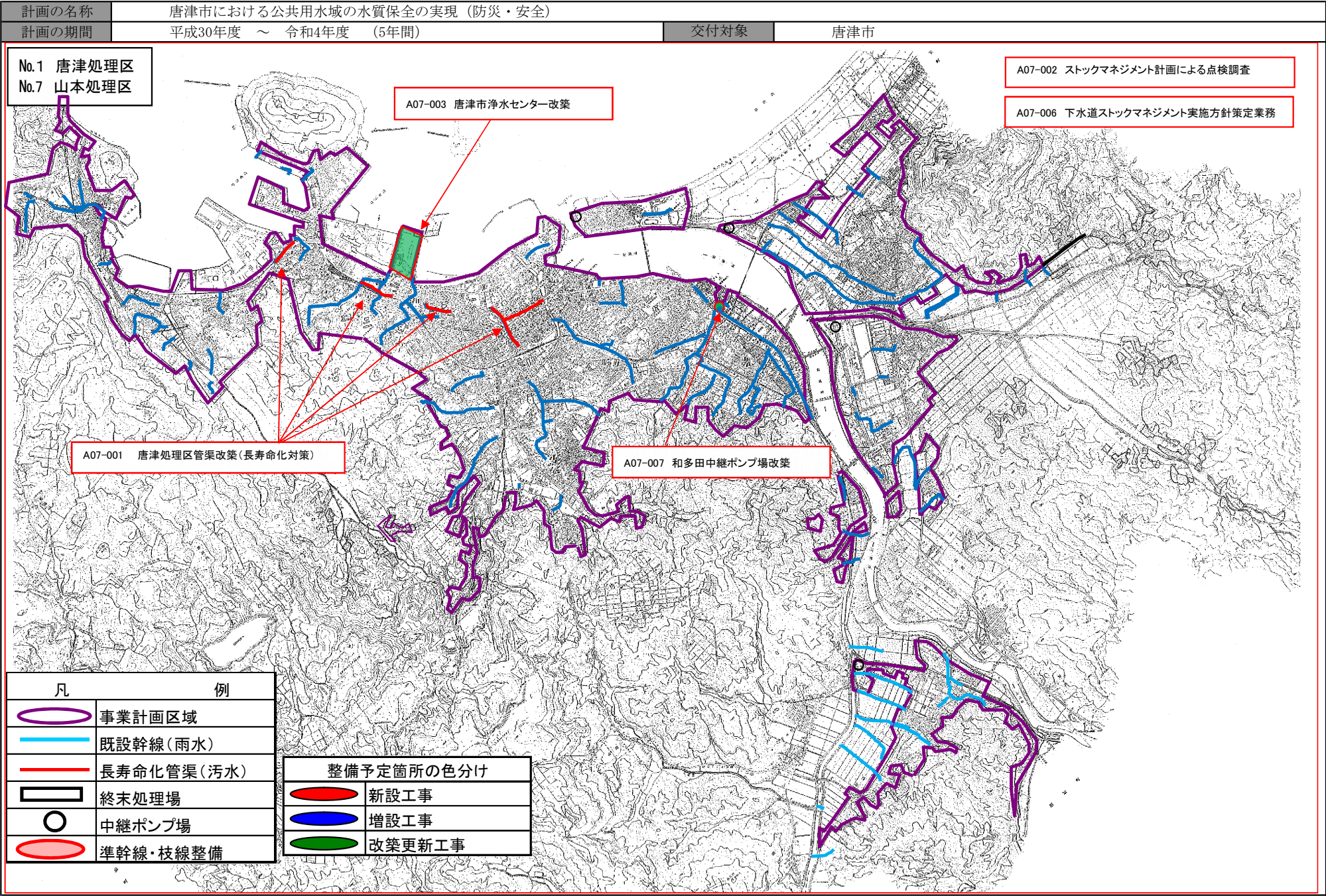
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	事業及び 施設種別	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用便益比
											H30	H31	R2	R3	R4		
No.1	唐津処理区																
A07-001	下水道	一般	唐津市	直接	唐津市	汚水	改築	唐津処理区管渠改築（長寿命化対策）	マンホール蓋取替20基	唐津市					8	—	
A07-002	下水道	一般	唐津市	直接	唐津市	汚水	改築	ストックマネジメント計画による点検調査	処理場・ポンプ場の点検・調査	唐津市					0	—	
A07-003	下水道	一般	唐津市	直接	唐津市	汚水	改築	唐津市浄水センター改築（高率）	汚泥消化槽他・機械・電気設備	唐津市					1,198	—	
A07-003	下水道	一般	唐津市	直接	唐津市	汚水	改築	唐津市浄水センター改築（低率）	汚泥消化槽他・機械・電気設備	唐津市					59	—	
A07-004	下水道	一般	唐津市	直接	唐津市	汚水	改築	浜玉浄水センター改築	次亜塩素素注入ポンプ等	唐津市					4	—	
A07-005	下水道	一般	唐津市	直接	唐津市	汚水	改築	北波多浄水センター改築	機械・電気設備	唐津市					4	—	
A07-006	下水道	一般	唐津市	直接	唐津市	汚水	改築	下水道ストックマネジメント実施方針策定業務	処理場・ポンプ場・管渠の図計画実施方針を策定するもの	唐津市					103	—	
A07-007	下水道	一般	唐津市	直接	唐津市	汚水	改築	和多田中継ポンプ場改築	監視設備	唐津市					26	—	
																—	
合 計															1,402		

C 効果促進事業

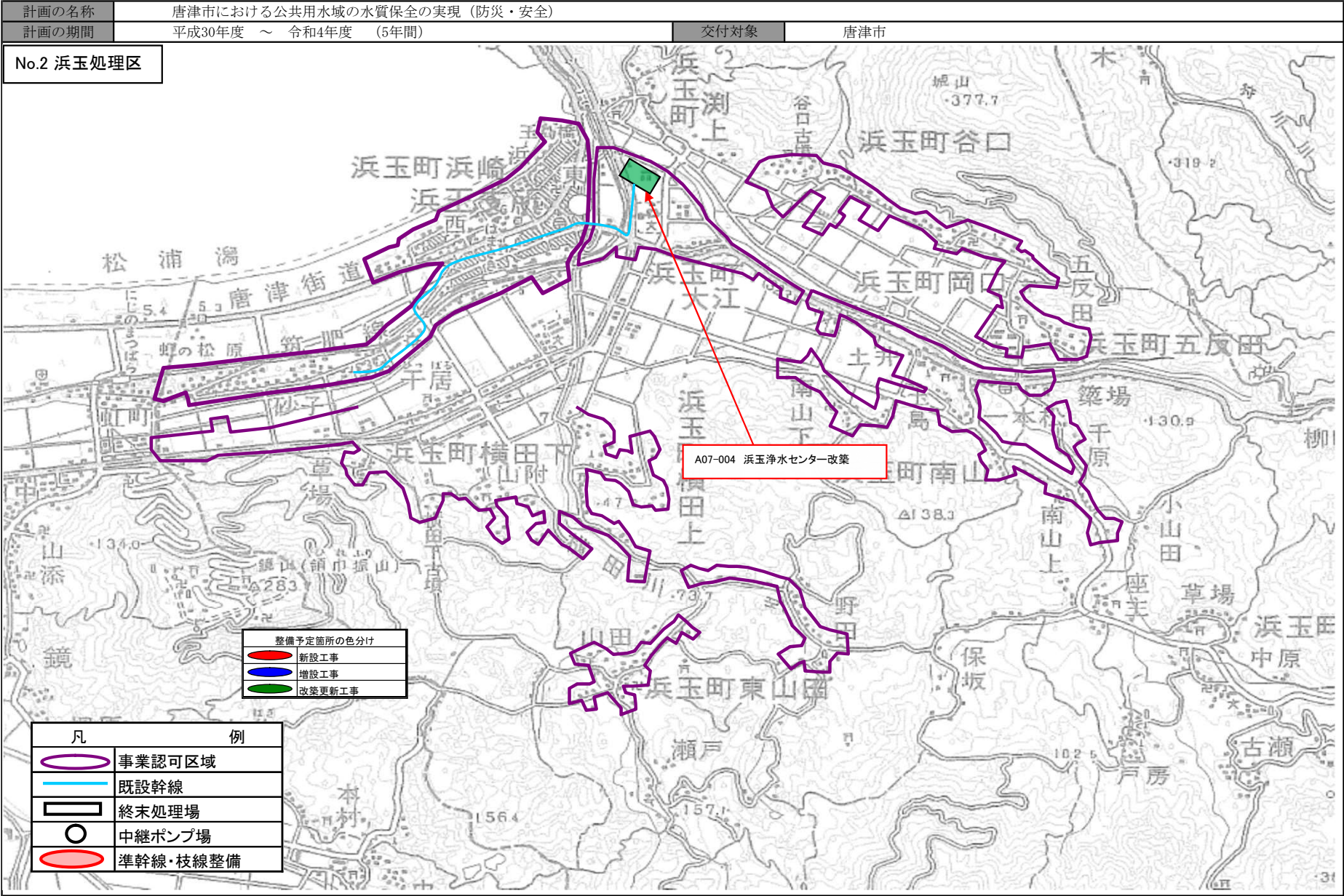
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用便益比
										H30	H31	R2	R3	R4		
合 計																
番号	一体的に実施することにより期待される効果															

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
Ⅰ 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		・ 汚水幹線管渠長寿命化計画を策定した幹線における長寿命化対策実施率が90%から100%になり、計画的な改築更新事業が実施できた。 ・ 緊急度の高い下水道施設のストックマネジメント計画策定率が0 %から100%になり予定通り実施できた。 ・ 緊急度の高い下水道施設の改築実施率が0 %から60%になり予定通りの進捗状況となった。 ・ スtockマネジメント実施方針策定率が0 %から100%になり、より詳細なストックマネジメント計画が策定できるようになった。			
Ⅱ 定量的指標の達成状況	指標①汚水幹線管渠長寿命化計画を策定した幹線における長寿命化対策実施率	最終目標値	100. 0%	目標値と実績値に差が出た要因	目標達成
		最終実績値	100. 0%		
	指標②ストックマネジメント制度による緊急度の高い下水道施設の機能診断調査実施率	最終目標値	100. 0%	目標値と実績値に差が出た要因	目標達成
		最終実績値	100. 0%		
	指標③ストックマネジメント制度による緊急度の高い下水道施設の改築実施率	最終目標値	60. 0%	目標値と実績値に差が出た要因	目標達成
		最終実績値	60. 0%		
指標④ストックマネジメント制度による実施方針策定率	最終目標値	100. 0%	目標値と実績値に差が出た要因	目標達成	
	最終実績値	100. 0%			
Ⅲ 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)					
3. 特記事項（今後の方針等）					
平成30年度から令和4年度までの5年間で社会資本総合整備計画（防災・安全）による下水道事業（施設の改築更新）を行い、定量的指標を全て達成することが出来た。今後もストックマネジメント計画に基づいた施設の維持管理を実施しながら、管渠のストックマネジメント計画を策定し計画的な改築等に努め、安全・安心なまちづくりに取り組んでいきたい。					

(参考図面)



(参考図面)



(参考図面)

